

公表:2024年3月31日

事業所名:プティ倶楽部大宮

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1人あたり4米以上のスペースを確保出来ており、基準は満たしています。活動内容によっては少し狭く感じる場合があります。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切な数の児童指導員を配置することが出来ています。児童の特性に合わせての配置人数も検討していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	玄関や各所に段差があるため、必要に応じて職員が介入し、安全に考慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善の為に、事業所内の目標を毎月決め、達成度の振り返りを会議で行っています。他、毎朝のミーティング等でも業務改善を図っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			改善に時間が掛かってしまうこともあります。アンケートの結果は真摯に受け止め、業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果は会社のホームページにて公開しています。他お便りでも周知しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は行っていませんが、今後必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月の職員会議の際に研修を行っています。さらなる資質向上のため、外部の研修に参加できる機会を増やしていきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			新しいアセスメントツールを導入し、職員間で分析をしています。分析の結果や、保護者様との面談の際に伺ったニーズや課題を基に、サービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全児童共通のアセスメントツールを使用しており、児童の学年に合わせたアセスメントツールも取り入れています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月活動プログラムを作成する為の会議を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化しないよう、スタッフ全員で話しあいを行っています。毎月新しい活動を取り入れるようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	限られた時間の中で充実した支援が出来るよう、プログラム作成の段階で、課題を細かく設定しています。これからも、一人一人の特性に合わせた内容を考えて行きます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団や個別の活動を組み合わせて計画書を作成しています。個別の活動がやや不足していると感じることもあるため、バランスよく取り入れていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝ミーティングを行い、昨日の振り返りをしたり、当日の活動やねらい、役割分担の確認をしています。パート職員さんへの共有は口頭での説明を心がけます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			緊急性の高いもの、共有事項があった際には当日に打ち合わせを行っていますが、振り返りについては翌朝のミーティング時に行い気づきを共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動の終了後にその日の子どもの様子や支援した内容を入力し、振り返り会議で検証・改善をしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々、支援の振り返りを行う他、支援計画書更新の際にもモニタリングを行い、計画の見直しについて、職員間で意見を出し合っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインにある内容を複数組み合わせ、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			参加する際はマネージャーや管理者や児童発達支援管理責任者が参画しています。また気になる事がある際には、こちらから開催の提案をしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との連携は、お迎え時に確認を行ったり、お便りを頂いたりして情報の共有をしています。今後は学校見学や支援会議などでさらなる共有を図っていききたいと思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な児童は利用していませんが、今後必要時に応じて体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		必要に応じて相談支援専門員さんより、情報の共有を行っています。今後も情報共有が出来る機会を増やしていきたいと思ます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		移行先の事業所には、学校や保護者様を通して情報をお伝えしています。必要に応じて、移行する事業所と連携していきたいと思ます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターとは児童の情報の共有等で連携をしています。研修等はさいたま市福祉局障害福祉部障害政策課より案内された研修や社会福祉協議会開催の研修等に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	放課後児童クラブや児童館と交流する機会はありませんでした。障害のない高校生と活動で交流する機会がありました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	区開催の連絡会に参加しています。協議会の参加が可能でしたら積極的に参加したいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や日々の連絡帳、保護者面談にて情報の共有を行っています。今後も、発達の状況や課題について気軽に相談できるよう働きかけを行いたいと思ます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		送迎の際や面談時、電話等にて相談、助言などを行っています。さらにきめ細かなサポートになるよう努めていきます。
保護者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際に運営規定、支援の内容、利用者負担等について、丁寧に説明させて頂いております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的な面談時や子育てに対する悩みがあった際には柔軟に対応をしています。気軽に相談しやすいよう、環境を整えていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に2回ほど保護者会を開催しています。今後も年2回の開催を目指し、保護者様同士の連携を図りたいと思います。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に苦情担当窓口の説明をしています。苦情があった際にはできるだけ迅速に対応し、改善に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月お便りを発行し、活動概要や行事予定、研修内容等を発信しています。他、SNSでの情報発信やシステムでのブログ発信を携帯で閲覧出来るようにしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			日頃から十分に注意しています。また、年に1回、個人情報の研修を行っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉だけではなく、ホワイトボードやジェスチャーや絵カードを用いて、情報伝達に配慮しています。保護者様とは、送迎時や必要時に連絡を取り合ったり、携帯で確認できるシステムを使用し、意思の疎通を図っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域交流では何う事はありましたが、招待しての交流はありませんでした。今後必要に応じて機会を設けていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定しており、事業所で閲覧できるようになっています。また保護者様へは、お便りや携帯で確認できるシステムを使用してお知らせしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回以上避難訓練を行い、防災に対する意識を高めています。防災グッズなどの必要な物についても毎年の見直しを行い非常災害時の発生に備えていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回以上虐待防止研修を行い、様々な事案を職員間で出し合い、虐待を未然に防げるよう務めています。他、年に一回以上、虐待防止委員会・身体拘束適性化検討委員会を開催し、各事業所の具体的な事例を共有し合い、防止策や改善方法を検討しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束に関する指針を作成し事業所に掲示しています。また、身体拘束についての研修も年に1回以上は行っています。現在身体拘束を行うことは想定していないため、計画書には記載していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時や面談の際に、保護者様にアレルギーの有無を確認しています。現在、医師の指示書が必要である児童はおりません。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットノートを作成し、振り返り会議等で情報を共有しています。その際に、今後の対策や改善案を立てています。	